

事業所名		公表日					
リトルジェム極木		2026年 3月 30日					
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			・活動場面によって部屋を使い分けており、十分なスペースを確保できている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	1		・職員の休み等で人手が足りないときもある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	1	・利用児童が行き来する部屋は限定し、生活導線を分かりやすくしている。 ・広い空間でもパーティションを使用するなどして、環境調整を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	5	1		・毎朝清掃をしており、生活空間を清潔に保つよう心掛けている。	・部屋数が多く、掃除に手間がかかる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			・活動時の個別対応だけでなく、アレルギー対応が必要な児童のおやつ提供の際にも、個別の部屋を活用している。	
業務 改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	1	・朝礼時に振り返りを行っている。休みの職員に情報共有できないときには、メモを残し、後日見返せるようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		2	・今年が開所して初めての実施となる。以後、毎年実施予定。	
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	4	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1	5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	2	3	1	・個別に研修を受けた職員から、朝礼時に全体へ情報共有をしてもらっている。	・全体で研修を受ける機会を確保できていない。
適 切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			・ホームページで公開している。初めて来所される保護者や関係機関の方々にも説明時にお渡ししている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			・保護者からの聞き取りだけでなく、保育所や他事業所等の関係機関とも情報共有し計画作成に反映させている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			・原案作成後の会議では、出来る限りすべての職員が参加し、意見を把握する機会を設けている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		・個別支援計画は紙だけでなく、データ(HUG)でもすぐに確認できる環境を整えており、計画に沿った支援を提供している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		・TASP(発達評価シート)を使用し、適応行動の状況を把握している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		・左記の項目を設定し、利用児童に応じて具体的な支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2		・活動内容によっては、チームで話し合って決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			・活動内容が固定されないよう、月ごとに計画を立てている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2		・朝礼時に当日の予定や支援に関して打ち合わせをし、チームで連携して支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	5		・朝礼時に振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1			

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		1			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		1			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1			・送迎時や電話連絡にて併行通園先と情報共有を図っており、必要に応じて支援計画を提供している。また、就園、転園等の移行に向けては情報提供書を作成し、情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1			・保護者の学校見学に同行し、就学先との情報共有を行っている。また、就学前には就学支援シートを作成し、情報提供をしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	/					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。						
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。						
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。						
		32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		2	4		・公園や図書館等で他の子どもと接する機会はある。
		33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1			・日頃から連絡システム（HUG）にてやりとりをし、必要な時には対面または電話にて状況を伺っている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5			・保護者会にて、就学のことや関わり方等についての情報提供を行っている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6					
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6					
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	1			・保護者会や親子レクリエーションを行ったが、参加者が少なかったため、より参加しやすい方法（場所や時間等）を考えたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1				・連絡システム（HUG）にてメッセージで気軽に相談できる環境を整えている。相談があった場合には出来る限り、迅速かつ適切な対応を心がけている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2				・連絡システム（HUG）にて活動概要やその他情報の発信を行っている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		1			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6					
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			6			
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	1			・連絡システム（HUG）にてフローチャートを周知している。

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	3	1	・BCPを作成し、非常災害時の訓練を実施している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	1	・契約時に左記についての状況確認をしている。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			・医師の指示書に基づき、おやつ等提供前のアレルギー確認と食事前後の清掃を徹底している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2	1	・安全計画を作成している。戸外活動時は計画場所や時間、引率者、気づき等の記録を行っている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2	1	・連絡システム（HUG）にて周知している。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	2	1	・ファイリングし、すぐ確認できる場所においている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	1	・年に1回は研修の機会を設けている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	1	・計画に記載する際は、職員で話し合いをして決定し、その後、保護者に説明をし同意を得ている。